

# 七条中学校だより7月7号

京都市立七条中学校

令和8年7月8日

発行：校長 林 秀雄

## 進路はこれからの自分を考えること4 進路希望調査を終えて

6月に実施した第1回進路希望調査では、3年生全員が自分の進路について考え、希望を提出してくれました。現時点では、公立高校を希望する生徒が多く、普通科への進学を考えている人が中心となっています。また、専門学科や私立高校、通信制高校など、一人ひとりが自分の興味や将来の夢に合わせて進路を考えていることが分かりました。前期選抜や私立高校の専願入試を視野に入れている人も多く、それぞれが自分の将来に向けて一歩を踏み出そうとしている様子が見えます。

今回の結果はあくまでも「今現在の希望」です。これから夏休みにかけて、高校説明会やオープンキャンパス、体験入学などに参加し、多くの情報を得ることになります。実際に学校を訪れることで、パンフレットだけでは分からない学校の雰囲気や学習内容、生徒の様子などを知ることができます。その中で、「思っていた学校と違った」「この学校で学びたいという気持ちが強くなった」など、進路希望が変化していくこともあります。それは決して悪いことではなく、自分自身と向き合いながら進路を考えている証拠です。

また、来週からは三者懇談が始まります。三者懇談は、進路を最終決定する場ではありません。これまでの学習や学校生活を振り返り、自分の現在地を確認するとともに、これからの課題を明らかにする大切な機会です。自分の目標に対して何が足りないのか、夏休みにどのような力を身に付ける必要があるのかを先生や保護者の方と一緒に考えてください。ぜひ受け身になるのではなく、自分の考えや不安、頑張りたいことを自分の言葉で伝え、有意義な懇談にしてほしいと思います。三者懇談で見つかった課題や目標は、夏休みの過ごし方につながります。受験生にとって夏休みは大きく成長できる時期です。苦手教科の克服、基礎学力の定着、学習習慣の確立など、一人ひとりが自分に必要な力を意識して取り組むことが大切です。夏をどう過ごすかによって、秋以降の学習や進路選択に大きな違いが生まれます。まずは「この夏に何を頑張るのか」を明確にして、一日一日を大切にしてください。

そして、7月10日には高校の先生方による出前授業があります。実際に高校で教えていらっしゃる先生の授業を受けることができる貴重な機会です。高校ではどのような学習をするのか、授業の進め方はどう違うのか、高校生活ではどのような力が求められるのかなど、「高校のリアル」を直接知ることができます。授業を受けるだけでなく、「高校ではどんな勉強が大切ですか」「中学校のうちに身に付けておくべきことは何ですか」など、積極的に質問してみるのもよいでしょう。進路を考える上で、大きなヒントが得られるはずです。

進路選択は、学校名で選ぶのではなく、自分がどのような高校生活を送り、どのような未来を目指したいのかを考えることが大切です。この夏は、自分の進路と真剣に向き合う大切な期間になります。一つ一つの経験を大切にしながら、自分に合った進路を見つけていきましょう。学校も皆さんの挑戦を全力で応援しています。

## 防災学習・避難訓練を終えて～自分の命を守るために～

先日の防災学習・避難訓練では、南海トラフ地震について学び、地震発生時の避難行動や身の守り方について訓練を行いました。皆さんは真剣な態度で学習や訓練に参加し、「自分の命を守る」ことについて考える貴重な機会となりました。

地震は、いつ、どこで起こるかわかりません。学校にいる時だけでなく、家にいる時、登下校中、休日に出かけている時に発生する可能性もあります。そのような非常時には、正しい知識をもとに落ち着いて判断し、行動することが何より大切です。

今回学んだように、地震が発生したらまず自分の身を守ること、状況に応じて安全な場所へ避難すること、そして周りの人と助け合うことが重要です。災害時には不確かな情報に惑わされず、正しい情報を得ることも忘れてはなりません。

また、防災は学校だけで行うものではありません。ぜひこの機会に、ご家庭でも避難場所や連絡方法、防災用品の準備について話し合ってください。家族みんなで備えを確認しておくことが、いざという時の安心につながります。

「自分の命は自分で守る」。そして、「周りの人の命も大切に守る」。今回の学習や訓練で得た知識と経験を、ぜひ日常生活の中で生かしてください。皆さん一人一人の防災意識が、自分自身や大切な人の命を守る力になります。